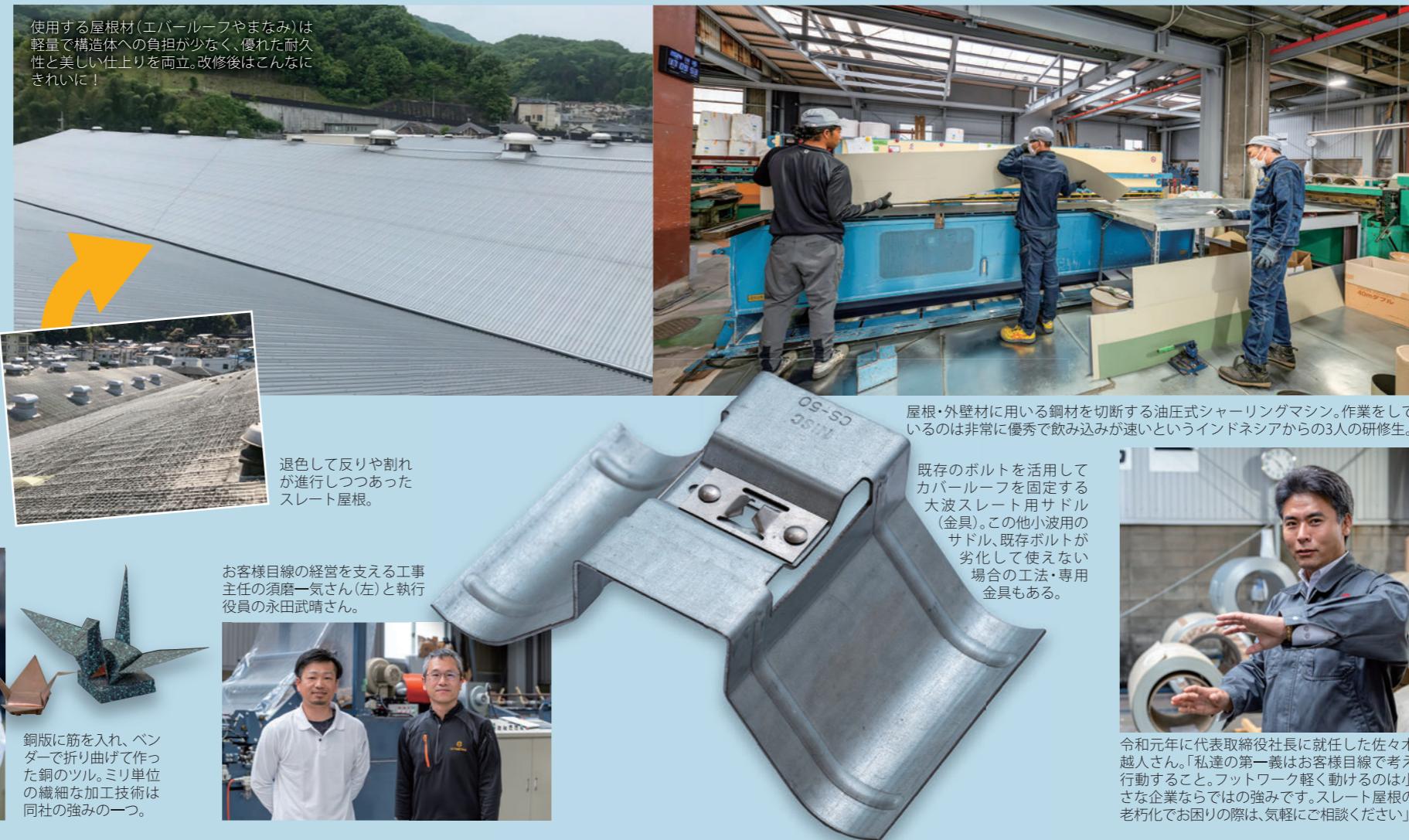




佐々木金属工業株式会社

広島市中区光南5丁目2-39
☎ 082-241-4449

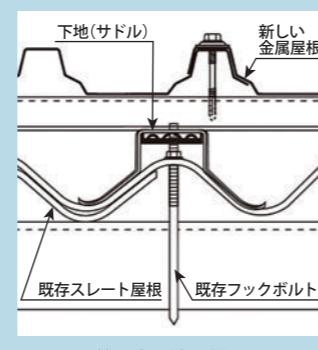


各種屋根・外壁材の成型ライン

根を被せビスで固定するカバー工法は以前から行われていましたが、同社が普及を目指す間接固定工法は元のスレート屋根のフックボルトを利用して、ビス用の穴を開けずに下地となる金属(サドル)を設置して金属屋根を固定する工法。古いスレートに含まれるアスベスト(石綿)や切屑の粉塵が発生しないので、事業を止めることなく改修ができる点が大きな特長です。またスレートを剥がさないぶん工期を短縮でき、廃棄物処理も不要。屋根の重ね葺きで断熱性が向上するうえ、間に断熱材を敷き込めば冷暖房費の大幅削減も可能に。

「通常通り工場を稼働できて助かつた、夏場のうだるような暑さ

**安全・簡単なカバー工法で
潜在ニーズを掘り起こす**



「うちの機動力を生かしてお客様や地域のためにいいと思うことはどんどんやつていきたいと思っています。間接固定工法はまだ認知度が低いため、まずは広く知つていただくことをを目指します」。社会に何を提供し、何を大事にして仕事をするか——創業者が示した社訓は78年が経つた今もしつかりと息づいています。

ね。また作業する私達にとっても発がん性が指摘されるアスベストを吸う危険性がなく安心です」。

平成29年には同業他社に先駆けてリフォーム用屋根材の専用成型機も導入。施工管理は同社が担当する形で信頼のおける工務店との協力体制を整え、建物調査から施工まで県内全域に対応しています。スレート屋根の経年劣化によるトラブルはさらに増えていくと予想され、今後は潜在ニーズの掘り起こしに注力していく予定だとか。

広島市中区の佐々木金属工業株式会社は屋根・外壁材を中心とした金属建築資材の卸・加工・施工を手がける企業です。

昭和21年、原爆で焦土と化した広島の街の復興を担うため先々代が前身の板金工作所を創業。世界平和記念聖堂などの建築物や生活必需品の製作で優れた技術を發揮しました。「研究熱心でもあった祖父は、昭和44年に佐々木式瓦棒と名付けた屋根工法で特許を取得。やがて金属建築資材の卸を事業の主軸とする一方、13工種の建築業許可を取得して施工もできる体制を整えました」とその歩みを振り返る3代目の佐々木越人社長。

同社の礎を築いた先々代が社訓として掲げたのは、お客様の満足と真正面から向かい合つ「誠実」、妥協を排し完璧な管理と施工を行う「忍耐」、常に先取りの気概をもつて新しい分野と技術を拓く

「努力」。その理念の下、同社が今一番力を入れてするのが90年代から爆発的に普及したスレート屋根のリフォーム事業です。セメントに補強纖維を混ぜたスレートは、丈夫でコストパフォーマンスに優れ、特に工場・倉庫では強度を高めた波型スレート屋根が主流になりました。スレート屋根の耐用年数は20～30年。街のあちこちで劣化が進行した屋根が目につくようになり、実際に雨漏り等の相談が増えているそうです。

2024年注目したい ひろしまの元気企業

ニーズは時代がつくるもの。それをいち早くキャッチし、すみやかに決断して行動に移すことが成長企業の条件です。「今」を見据えた独自の商品や新技術、ユニークなサービスで注目される元気な中小企業をご紹介します。

老朽化した工場・倉庫のスレート屋根に新提案
工場等を稼働しながら屋根改修が可能な工法の地域普及を目指して